学校番号	306

令和８年度　数学科

教科	数学科	科目	数学Ａ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	数学Ａ（啓林館）						
副教材等	マスグレードα数学Ⅰ＋Ａ（啓林館）、青チャート数学Ⅰ＋Ａ（数研出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・授業では、得た知識の深化・統合を図るためにアウトプットする活動（問題演習、対話的活動）を行います。
・授業用と問題集用の２種類のノートを用意してください。
問題集の問題をまず自分で解いて各自答え合わせしてください。間違えた問題はどの部分でつまずいたのかを分析し、不足している知識等はしっかりと学びなおしてください。そのためにも、途中の式や考え方は必ず書くようにしましょう。
・家庭学習における課題は定期的に提出してもらいます。最後まであきらめずに取り組みましょう。

２　学習の到達目標

1. 事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能や基本的な概念、原理・法則などを体系的に理解し、基礎的な知識を身につける。
2. 事象を数学的に考察し表現したり、思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることなどを通して、数学的な見方や考え方を身につける。
3. 数学的、論理的な考え方に関心を持つとともに、それらを事象の考察に活用して数学的な考え方に基づいて判断できる。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	場合の数と確率、図形の性質、及び数学と人間の活動における基本的な概念、原理・法則、用語・記号などを理解し、基礎的な知識を身につけている。また、その事象を数学化して数学的に解釈し、数学的に表現し処理する仕方や推論の方法を身につけ、的確に問題を解決できる技能を身につけている。	数学的な活動を通して、場合の数と確率、図形の性質、及び数学と人間の活動における数学を活用して事象を論理的に考察する力を身につけ、思考の過程を振り返り事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力や、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力が養われている。	数学的な活動を通して、場合の数と確率、図形の性質、及び数学と人間の活動における考え方に関心・意欲をもつとともに、積極的に取り組み粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断し、問題解決の過程を振り返って考察を深め、評価･改善したりしようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(A)	思(b)	主(c)
1学期	場合の数	集合の要素の個数	a:集合の要素の個数に関する基本的な関係や和の法則・積の法則などの数え上げの原則について理解している。 b:ベン図を利用して集合を図示することで、集合の要素の個数を考察することができる。 c:問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。	ペーパーテスト(短答式等)	ペーパーテスト(記述式等)	提出物(ノート・プリント・課題など)の取り組み状況 授業中の取り組み状況
		場合の数	a:具体的な事象を基に求めることができる。 b:事象の構造などに着目し、場合の数を求める方法を多面的に考察することができる。 c:事象を場合の数の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを利用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。	ペーパーテスト(短答式等)	ペーパーテスト(記述式等)	提出物(ノート・プリント・課題など)の取り組み状況 授業中の取り組み状況
		順列・組み合わせ	a:具体的な事象を基に順列及び組合せの意味を理解し、順列の総数や組合せの総数を求めることができる。 b:事象の構造などに着目し、順列・組み合わせを求める方法を多面的に考察することができる。 c:問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。	ペーパーテスト(短答式等)	ペーパーテスト(記述式等)	提出物(ノート・プリント・課題など)の取り組み状況 授業中の取り組み状況
	確率	事象と確率 確率の基本性質	a:確率の意味や基本的な法則についての理解を深め、それらを用いて事象の確率や期待値を求めることができる。 b:確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断したり、期待値を意思決定に活用したりすることができる。 c:事象を確率の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを利用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。	ペーパーテスト(短答式等)	ペーパーテスト(記述式等)	提出物(ノート・プリント・課題など)の取り組み状況 授業中の取り組み状況
		独立な試行と確率 条件つき確率 期待値	a:独立な試行の意味を理解し、独立な試行の確率を求めることができる。また、 条件つき確率の意味を理解し、簡単な場合について条件つき確率を求めることができる。 b:確率の性質や法則に着目し、確率を求める方法を多面的に考察することができる。 c:事象を確率の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを利用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。	ペーパーテスト(短答式等)	ペーパーテスト(記述式等)	提出物(ノート・プリント・課題など)の取り組み状況 授業中の取り組み状況

2学期	図形の性質	三角形の性質	a:三角形に関する基本的な性質について理解する。 b:図形の構成要素間の関係や既に学習した図形の性質に着目し、図形の新たな性質を見いだし、その性質について論理的に考察したり説明したりすることができる。 c:事象を図形の性質の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを利用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。	ペーパーテスト（短答式等）	ペーパーテスト（記述式等）	提出物（ノート・プリント・課題など）の取り組み状況 授業中の取り組み状況
		円の性質	a:円に関する基本的な性質について理解する。 b:図形の構成要素間の関係や既に学習した図形の性質に着目し、図形の新たな性質を見いだし、その性質について論理的に考察したり説明したりすることができる。 c:事象を図形の性質の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを利用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。	ペーパーテスト（短答式等）	ペーパーテスト（記述式等）	提出物（ノート・プリント・課題など）の取り組み状況 授業中の取り組み状況
		作図	a:中学校で学んだ垂線や線分の内分点・外分点、などの作図ができる。得られた図形が確かに条件を満たすことを証明することができる。 b:コンピュータなどの情報機器を用いて図形を表すなどして、図形の性質や作図について統合的・発展的に考察することができる。 c:問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。	ペーパーテスト（短答式等）	ペーパーテスト（記述式等）	提出物（ノート・プリント・課題など）の取り組み状況 授業中の取り組み状況
		空間図形	a:空間図形に関する基本的な性質について理解する。 b: 図形の構成要素間の関係や既に学習した図形の性質に着目し、図形の新たな性質を見いだし、その性質について論理的に考察したり説明したりすることができる。 c:事象を図形の性質の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを利用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。	ペーパーテスト（短答式等）	ペーパーテスト（記述式等）	提出物（ノート・プリント・課題など）の取り組み状況 授業中の取り組み状況
3学期	数学と人間の活動	数学の歴史・文化	a:数量や図形に関する概念などと人間の活動との関りについて理解している。 b:数量や図形に関する概念など、関心に基づいて発展させ考察することができる。 c:事象を数学の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを利用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。	ペーパーテスト（短答式等）	ペーパーテスト（記述式等）	提出物（ノート・プリント・課題など）の取り組み状況 授業中の取り組み状況

		数学とパズル･ゲーム	a:数学史的な話題、数理的なゲームやパズルを通して、数学と文化との関りについての理解を深めている。 b:パズルなどに数学的な要素を見いだし、目的に応じて考察することができる。 c:事象を数学の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを利用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。	ペーパーテスト（短答式等）	ペーパーテスト（記述式等）	提出物（ノート･プリント･課題など）の取り組み状況 授業中の取り組み状況

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度